

2024（令和6）年4月23日

伊賀市長 岡本 栄 様

伊賀市美術博物館建設準備委員会  
委員長 藤田 真一

美術博物館の建設に関する基本構想について（答申）

2023（令和5）年7月10日付け、伊文美第86号で諮問のありました美術博物館の建設に関する基本構想の策定について、伊賀市美術博物館建設準備委員会において慎重に協議・検討を重ねてまいりました。

その結果、別添の「伊賀市美術博物館基本構想」を策定しましたので、ここに答申致します。

なお、基本構想にも記載していますが、答申にあたり下記のとおり意見を付します。

記

伊賀市には、数多くの貴重な俳諧資料や、歴史や文化に関する資料などが現存しています。しかしながら、それらの資料を保存・管理するうえで何より不可欠の収蔵庫がないという現状が、重大な問題となっています。あわせて、俳諧関係以外には学芸員も確保されていない状態です。従前から、新しい芭蕉翁記念館の議論が容易に進まなかった経緯がありましたが、以上のことは看過できない喫緊の課題です。

これらの課題を1日も早く解決するために、速やかに基本計画の策定に着手し、美術博物館が実現できるよう、建設に向けた議論を遅延なく進めることを強く望みます。